事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・ グループホーム「風楽里」

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和7年	10月15日	風楽里アルコーブにて
当日あつまって頂いた委員の皆様		議題
利用者	5人	1 自己紹介
利用者家族(風楽里)	1人	2 活動状況報告
11 (笑楽日)	1人	スライドショー
知見者	1人	3 風楽里 外部評価
市職員	1人	4 身体的拘束適正化検討委員会
地域包括支援センター	1人	
地域住民の代表者	1人	
事務局	4人	
職員介護従事者	2人	

① 自己紹介

- ② 利用者様の日常の様子を、スライドショーや活動状況報告書を読みながら報告しました。
- 事務局・・・8月はコロナの影響も治まり、利用者様はお元気で過ごされました。

猛暑の影響で、屋外の活動は困難でした。

9 月は敬老月間として、保育所のお子さんたちとの交流や、演劇等々の企画を催し

て、

健康長寿をお祝いしました。

- ③ 風楽里 外部評価
- 事務局・・・職員の評価結果を集計したものから、ポイントの低かったものについて、 例年どうり運営推進会議を活用して委員の方々にご意見を伺いたいと思います。 〔地域資源との協働〕〔本人が持つ力の活用〜近隣地域の人々との関り〕 どちらもあまりできていない。ほとんどできていない。のポイントが高かったで

す。

高齢福祉課・・・どこの事業所もコロナ以降、地域活動が減少しており、近隣や地域の方々と関わる機会を作ることが困難だと聞いております。

夏祭り等の行事を企画されたり、畑を借りたりと工夫されているところもあります。

公民館活動にお邪魔させて頂いております。

地域の代表・・・自治会も縮小し、獅子舞などの祭りも少子化もあり、形骸化しています。 事業所企画で近隣の方にこの事業所を周知することは良いと思います。 社協の企画があれば、お誘いしたいと思います。

事務局・・・貴重なご意見ありがとうございました。次回運営推進会議に、集計してまとめたいと思います。

④身体拘束適正化委員会

- 事務局・・・身体拘束廃止についての定期的な研修を行っておりますが、今回は新たな資料をお 配りしました。ここに身体拘束によって転倒リスクは減るが、転倒すらできない状 態にまで追い込んでいる。と記されていて、良い資料だと思い、研修材料と思いま した。
- ご家族・・・前回の運営推進会議でも、何を持って身体拘束とするかについて、悩ましい場面もあると気付きました。
- ご家族・・・夜間など、一度にコールが鳴るとどの方を優先するかなど、悩ましい場面が多々あるようです。ケガをさせたくないという気持ち等、葛藤があります。 オムツ外しなど困難な事例の場合は特に困ります。
- 事務局・・・資料にある通り、どのような介護を目指すのか、明確なビジョンが必要と考えます。

 す。
- ご家族・・・しばしば施設を訪れますが、皆さんのご様子を見て安心しています。
- 事務局・・・引き続き拘束をしないケアを続けてゆきたいと思います。

以上 令和7年度 第4回 運営推進会議の報告とさせていただきます。

次回は 12/17 (水) を予定しております。

報告者 伊丹